

# 競技会開催にあたっての新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン

## 1 競技関係者の感染対策

(1) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせる。

- ・ 体調が良くない場合（37℃以上の発熱、咳・咽頭痛などの症状や味覚嗅覚異常の症状がある場合）
- ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 参加者全員のマスク着用する。

(3) 主催者が示す注意事項の遵守する。

(4) 事業終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告をする。

(5) 大会期間中及び、大会期間前後2週間（14日間）は体調チェック及び行動記録を記載する。

チェックリスト 感染対策方針

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号、Email アドレス※個人情報の取扱に十分注意）
- ② イベント当日の体温
- ③ 競技会前2週間における以下の事項の有無
  - 平熱を超える発熱がない
  - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状がない
  - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない
  - 臭覚や味覚の異常がない
  - 体が重く感じる、疲れやすい等がない
  - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない
  - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない

(6) 会場における感染対策

- ・ マスクの着用やソーシャルディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・ 審判や会場ボランティア(フロアキーパー等)はマスク等の顔を覆うものを着用すること。
- ・ 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、選手、コーチ、審判は頻繁に手洗い・消毒を実施する。
- ・ チーム内で複数名が使用する用具器具、その他の備品も頻繁に消毒をおこなう。
- ・ 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等の接触は避ける。
- ・ ベンチにいるチーム関係者と選手は、マスクを着用し大声での応援はおこなわない。
- ・ 会場利用者はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・ 会場利用者はロッカールーム等の滞在時間を短くするため着替えに限定する。

## 2 会場への感染対策へのお願い

主催者は、会場において感染対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対して感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し、協力を求める。主催者及び参加者（チーム）はそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前・事業実施日・事後にお互いが連絡を取り合える環境を構築する。

### (1) 諸室等

- ・ 各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- ・ 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・ ドリンクを冷やすためのアイスボックス・イベントクーラーは使用しない。
- ・ 座席を設置する際に前後左右 1.5～2m間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・ 喫煙所は設けない。

### (2) 手洗い場所

- ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を設置する。
- ・ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- ・ アルコール消毒液を設置する。

### (3) トイレ

- ・ 便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・ トイレも手洗い場と同じようにポンプ式液体または泡石鹸を設置する。
- ・ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。

### (4) 控室・更衣室・ロッカールーム

- ・ 広さにはゆとりをもたせ、利用者同士が密になることを避けるようにする。
- ・ 利用者の数を制限するなどの措置を講じる。
- ・ 室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所については頻繁に消毒する。
- ・ 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。